

聖徳大学児童学研究所主催公開講演会

# 命のバトン

妊娠SOS  
相談から  
みえてきたもの

平成 27 年

10 / 土  
31

13:00~14:30

参加費  
無料

会場

聖徳大学10号館 14階

千葉県松戸市松戸1169

JR常磐線・新京成線「松戸駅」下車、東口徒歩1分

後援

松戸市教育委員会、市川市教育委員会、  
柏市教育委員会、取手市教育委員会

定員

100名 (事前申込不要)

講演者

田尻 由貴子

一般社団法人スタディライフ熊本 特別顧問



1950年熊本県嘉島町に生まれる。1973年熊本県立公衆衛生看護学校で保健師および助産師免許取得。菊水町保健師、菊水町立病院総婦長を経て、2000年より医療法人聖粒会 慈恵病院 看護部長の任と共に2007年に開設された「このとりのゆりかご」及び「SOS相談窓口」運営の中心的役割を果たし、2014年相談役として次世代に継承し、2015年3月末定年退職。2015年4月から「スタディライフ熊本(生涯学習支援事務所)」特別顧問に就任し、引き続き、望まない妊娠や子育てで悩む女性やその家族に寄り添う24時間フリーダイヤル相談窓口を開設。また、相談活動と共に全国の小中高校での性教育や、大学、学会、各団体などで命、子育て、人権などの講師・講演活動を行っている。

## 内容

予期せぬ妊娠を迎え、子どもを育てられない、育てたくない女性があります。この対処については、残念ながら、多くは人工妊娠中絶を選ぶことが多いのが現状です。中絶可能期間を過ぎてしまったときは、出産しなければなりません。このような子どもを育てる仕組み(社会的養護)は、わが国で十分機能しているとは言えません。出産時の虐待(日齢ゼロの虐待死が最も多い)、心中、どこかに放置されたりしています。このような子どもを救うために、熊本市にある慈恵病院では「このとりのゆりかご」(赤ちゃんポスト)を設置しています。長く、看護部長を務めていた田尻由貴子先生をお招きして、詳しくその目的、実態、予後などについてお話いただきます。

お問い合わせ ▶▶▶

聖徳大学児童学研究所(知財戦略課)

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550

電話: 047-365-1111 (大代表)

<http://www.seitoku.ac.jp/chizai/>

